

新型コロナウイルス影響調査（第一回）

2020/4/29 20:30現在

※個人ないし事業所が特定できる情報については引用者の判断で改変していることをご了承ください。

#	その他影響（自由記述）
1	利用者がいつもと違う状況に対して混乱しているのか、落ち着きがなくいつもと違う反応がある。
2	通所自粛をお願いしているが、実習も事業所移行も就職も支援できないまま支給決定期間だけが終了に近づいている。漠然とした不安を利用者も職員も抱えている。
3	就労B型ですが、在宅支援を検討する場合、どの様な事例があるか知りたいです。今後は、検討する必要がかなり高くなると思われます。単なる休業は、利用者の外出する機会を増やすことになり感染リスクが高まる様にも思われます。
4	職員自身・家族の不安もあり、体制上の問題が出てくる可能性がある。事態が長引いたときの想定と対応を検討せざる負えない。事業の継続が課題にもなる。
5	（事業所同士など関係者間で）話し合える機会が減った。ネット会議やチャットなどを開いてほしい。 福祉事業については、新型コロナウイルスに伴う利用率の低下に伴い今年度は減収になる。来年度も新規利用者の受け入れ等が今年度できないことや、休みの利用者の復帰などに伴い減収すると考えられる。 就労収入も利益率の高い作業が減少し、今年度は大幅な減収。来年度についてコロナに伴う不況をが考えられ減収が見込まれる。コロナ終息後、リーマンショックの時のように社会状況が変わることが予想される。それに向けて今準備しておかないと大変なことになる。
6	マスクやアルコールなどの減少が激しいがそれに伴う補充が出来ていない
7	休日の利用者の過ごし方として、外出されておられる方がいる。なるべく外出を控えてもらうように個別にも話しているが、理解が難しい面がある。利用者工賃やボーナスの支払いについても今後難しくなってくる。
8	就労移行支援事業所においてどれくらいの施設がどういった対応をしているのか知りたい（わかる範囲ですぐにでも）
9	生活介護は通所控えが契約数の2割程度。B型は収益4～5割減の見通し。
10	時短ではなく曜日ごとに、作業内容などで通所人数を制限しています。4月20日から定員の半分ずつぐらい（8～10人）の通所で、コロナの影響で保護者が通所させたくないという方が1名おられます。アンケート内容と若干意味合いが違っているので一応書き加えておきます。
11	発熱者が利用者の中で発生し、このような状況が引き続き継続すると、事業所自体の安定した運営ができずに、倒産が現実として懸念される状況です。 ただ運営はさておき利用者の支援としても、事業所内で発熱利用者が発生した旨を関係機関に伝えた所、発熱をしていない他の利用者の在宅サービスや通所支援もあわせて中止になってしまった現状です。支援者として、日々コロナウィルスと戦いながら、利用者の必要なサービスが実施できなくなりつつある現状があり、いち早く終息を願うとともに、県内の安全確保に全力で滋賀県が取り組んで頂ける様に強く願う日々が続いております。
12	利用者の生活リズムが崩れた
13	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク、アルコール除菌液が不足している ・事業所内で2mの距離をとる為、通所できる人数制限がかかっている。（通所できない方は在宅支援） ・当法人はXX・YY・ZZと異なる県で就労移行支援のサービスを提供しているが、各自自治体により対応が異なっている現状がある（特に在宅支援に対して） ・小学校、保育所等が休校となり在宅勤務となっている職員も出てきている ・ICTを使ったサービスを提供しているが、利用者側の機器やインターネット環境によって在宅での支援が難しい人もいる ・通所、在宅での活動が難しい人については、訪問による支援を行う必要が出ている ・事業所の見学、体験がストップしているのでこれから先の利用者確保に影響が出ると思われる ・企業だけでなく関係機関との連携が平常時に比べて困難になっている
14	マスクや消毒用アルコールの不足

新型コロナウイルス影響調査（第一回）

15	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、家族からコロナウイルスの感染拡大や、事業所の開所状況（主には通所希望の声が多い）に関する問い合わせ、不安のご意見が届いている。 ・ご利用者の中で、ショッピングモールや知人宅などに頻繁に外出してしまう人がおり相談を受けている。 ・高齢、基礎疾患を持った職員から勤務に関して不安の声がある。 ・マスク、アルコールなど衛生用品の購入、調達が難しくなっている。 ・見学、実習の実施が難しいため新規利用者の獲得が難しい現状である。 ・緊急的な職員の感染症対策マニュアルや、行政通知等の把握、支援体制の変更などで管理者、現場リーダーの業務負担が大きい。（休日出勤等の長時間労働が数週間常態化している。）
16	店舗の来客数が減ってきている。
17	地域のイベントが中止になり、作業収入が減っている。
18	運営上大きな不安があるが、今は人命第一。利用者と職員を守るのが先決。利用者が在宅で外出自粛するために、ご家族のご協力が必要。ご家族のお仕事の調整が必須。社会全体が協力しないと無理。衛生用品の物品不足のため、対応に困るので行政からの援助が必要。
19	適切な状況をスピーディーに提供していただきたい。 PCR検査に自由度を
20	<p>A型ではカフェ経営を行っていますが、不特定多数との接触を避けるために店舗を4月第二週末より休業。4月第三週末目よりお弁当の販売を開始している状況です。</p> <p>本来の業務ができなくなったことで売上げの確保や利用者の業務・訓練プログラムを確保できず、本来5時間以上の勤務を2時間半しか勤務してもらえない経営状態に陥っています。</p> <p>B型は菓子等の製造加工・販売を行っていますが、こちらはテイクアウト品としてニーズはあるものの、不要不急の外出を避ける状況から売上げが落ちている状況です。</p> <p>たまたま取引をしたことのある企業から受託作業の依頼があり、業務・訓練プログラムの確保ができ、B型はとりあえず平時と変わらない利用をしてもらっています。</p> <p>A型・B型の利用者ともに感染リスクに対する不安や、金銭面での今後の生活の心配などの不安感をふと口にすることが見られるようになっており、感染予防についての勉強会や密な面談・声掛けなどでサポートしています。</p> <p>通所の自粛要請についても念頭に入れて準備はしていますが、実際に閉所している事業所の利用者がふらふらと出歩いていると聞いています。閉じこもりにより精神的不調に陥ったり、生活リズムが乱れたり、という話も聞いており、事業所の完全休業は本当に最終的な手段としていただきたいと切実に願うばかりです。</p>
21	公共機関への清掃作業について 家族から自分の子供を行かせて欲しくないといった意見があった。 土日など休日の行動が把握できておらず、利用者によっては普段と同じ行動をしているため怖い面もある。